

決算特別委員会産業建設分科会

H 2 6 . 8 . 2 9 (金)

午後 1 時 3 0 分 ~

場所：第 3 委員会室

- 1 開 会
- 2 選定事業の論点整理
- 3 その他

	鳥獣対策事業	観光推進事業（城下町観光）	排水路新設改良事業
概要	有害鳥獣による農作物、文化財及び生活被害を防止・軽減するため、柵による防除対策や駆除等を行う。	亀岡市観光協会が行う城下町散策宝探しゲーム事業や城下町観光案内所運営事業等の補助を行う。	冠水常襲地を中心に排水路の改良工事を行う。
事業費（25当初）	15,787千円 ＜財源＞ 手数料6千円 府支出金11,369千円 一般財源4,412千円 ＜主な経費＞ ○有害鳥獣駆除経費8,900千円 （駆除計画・個体処分：府1/2、広域捕獲：府3/4） ○有害鳥獣防除施設設置経費5,450千円（府10/10） ※H25.9補正4,450千円（シカ捕獲奨励金）	（全体）55,462千円 ＜財源＞ ・府支出金8,200千円 ・繰入金他143千円 ・一般財源47,119千円 ＜主な経費＞ ○亀岡市観光協会城下町散策宝探しゲーム事業補助金2,000千円 ○町家にぎわい創出観光拠点運営事業補助金1,672千円（H26当初2,462千円）※人件費、借家料	33,200千円 ＜財源＞ ・市債24,900千円 ・一般財源8,300千円 ＜主な経費＞ ○H25実施：野田排水路他7排水路33,200千円 ※排水路維持修繕は別費目 ⇒排水路維持費（H25当初：2,000千円、H26当初6,000千円）
抽出理由	○H22事務事業評価により改善を指摘したが、獣害被害は後を絶たない状況であり、事業効果の推移を検証すべきである。 ○捕獲による鹿肉等（ジビエ）の活用も考えるべきである。	○城下町観光案内所「町家カフェ」の整備により、観光拠点として城下町のにぎわいの創出につながっているのか検証すべきである。	○集中豪雨に対する排水路の機能を検証し、今後の方向性を考えるべきである。
評価の視点	○事業効果の推移 ○獣害被害防止・減少の成果を評価 ○捕獲獣の有効活用の必要性	○協会実施事業に対し、事務事業評価として、手法、成果、コストをどのように評価するか。⇒評価の視点としては市の補助が適切かどうか。 ○整備の経緯、景観施策との整合 ○城下町のにぎわいの創出のためには市としてどうすべきなのか。	○雨水排水の総合対策のうち、排水対策としての排水路整備の考え方 ※雨水抑制対策調査実施（総務） ○排水路改良工事による実績・効果（通水能力の向上）
論点整理			
過去の評価	○22.9決算審査 ・評価結果：改善 ・評価意見：近隣自治体との連携や、大型獣の個体管理ができる施策を検討することにより山の機能保全を図ることが必要。また府と連携し、国の財政的な支援強化なども含め十分に協議されたい。手法等について創意工夫により検討し、事業効果を高め、被害減少が顕著に現れるまで継続して事業を改善されたい。	観光推進事業全体として ○24.9決算審査 ・評価結果：継続 ・指摘事項 一層の取り組みが進められるよう予算配分されたい。 ○23.9決算審査 ・評価結果：改善・拡充 ・評価意見：観光協会と連携し、積極的な観光施策に取り組むこと。	
市の考え方	H26.3一般質問答弁 「農作物被害を減少するためには、地域の組織、猟友会等の協力が必要。他市の事例も参考にしながら有効な方法を検討し、国の補助施策等も積極的に活用した駆除活動を進めていきたい。」「猟友会等の高齢化、会員減少傾向から、捕獲の担い手確保のために、狩猟免許の受験料50%補助、猟友会主催の講習受講料補助等、会員増加対策を講じている。」	○H25.3予算方針 ・観光協会等との連携 ・るるぶ改訂による情報発信 ・明智光秀、城下町をキーワードとした施策の推進 ⇒予算充実施策：観光パンフレット、スマートフォンアプリ制作業務10,450千円	○H25.12一般質問答弁（総務部長） 「冠水常襲地域に対する取り組みを推進するため、庁内横断的な調整組織を設置し、公共下水道全体計画の見直し、雨水保水対策の調査検討及び排水路の整備等を実施している。」 ○H26.6一般質問答弁